



第1146号  
2009年12月6日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇12月の代祷・信施奉献先  
▽聖書の主日(降臨節第2主日  
12・6)▽野宿生活者支援のため  
▽世界エイズデー▽部落解放  
キリスト者運動のため

◇堅信受領  
11月22日 清瀬聖母教会  
▽木下節子▽杉村俊久▽小林美  
智世▽佐々木節(清瀬)

◆とこしえの平安

11月6日 西名 さく(93)  
聖ガブリエル  
11月12日 吉川 江津(83)  
聖マルコ  
11月18日 鈴木 芳子(83)  
聖パウロ  
11月18日 酒井サヤカ(66)  
諸聖徒  
11月20日 小島 休景(90)  
目白

今週・来週の予定  
12月6日~19日

6(日) 降臨節第2主日  
人権委員会:エイズデー記念  
礼拝(聖バルナバ)  
7(月) 人権委員会(聖バルナバ)  
城南G牧師協議会(真光)  
8(火) 銀座朝拝会  
常置委員会  
9(水) 礼拝音楽委員会  
10(木) 信仰と生活委員会  
聖職養成委員会  
11(金) 主教座聖堂活動委員会  
広報委員会  
インターネット~特別委員会  
13(日) 降臨節第3主日  
主教巡回 月島聖公会  
合同堅信式(主教座)  
15(火) 主教選挙特別委員会  
16(水) 教役者レクイエム  
山手G牧師協議会(聖愛)  
ハラズメント防止委員会  
聖職試験公開説教(主教座)  
18(金) 財政委員会

11月24日 浅見千貴利(93)  
聖マルコ  
11月29日 松本 尚夫(75)  
聖マルコ  
▽12月銀座朝拝会 8日・22日  
日(第2・4火曜)7時半、喫茶  
室ルノアール・ニュー銀座。いず  
れも、お話し。  
▽12月ランチタイム・オルガ  
ンコンサート \*聖パウロ11  
日(金) 12時20分、佐藤雅枝  
\*聖アモテ15日(火) 12時30分、  
湯口依子 \*神田キリスト16  
日(水) 12時20分、松浦光子  
(各30分程度・入場無料)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

日本最初の英国人主教A・W・プール  
主教の名前を戴くプール学院は創立13  
0周年を迎えた。伝道主教として期待の  
うちに来日するも滞日わずか10ヶ月で病  
のために離任。故郷の英国  
シユルーズベリーで33歳の  
若さで天に召される。主教  
自身はプール学院という自  
分の名前がつけられた学校  
の存在を知らない。  
一八七九年に大阪川口居  
留地で始められた小さな女  
学校のために主教は母国に  
援助を求めた。しかし、宣  
教団体に財政的な余裕はな  
かった。主教の死後妻のセ  
イラとCMS宣教師C・  
F・ワレンが奔走し、名も無き英国の信  
徒が浄財を女学校のために捧げた。一八  
九〇年この浄財をもとに女学校は立派な

《み手のなかで》

プール主教

校舎と教育内容を持つ学校として新たな  
歩みを始める。このとき、学校はプール  
監督記念女学校と名づけられる。わずか  
10ヶ月しか滞在しなかったプール主教の  
名前が、現在も生きている不思議  
を思う。  
神のみ手の業は空間的広がり  
時間的広がりの中で恵みをもたら  
す。たとえ一人の人間の働きが小  
さなものでそれをういて大きな  
業をなされるのが神のみ手であ  
る。教会もキリスト教学校も困難  
な時代の中にいる。先が見えない  
中で徒勞と思える営みを続けるこ  
とはつらい。しかし私たちがみ手  
の中にいることを知れば、どんな  
苦しみにも耐えることができる。  
プール主教の働きは私にそのことを教え  
てくれる。  
(プール学院院長・教区より出向)

◇秋期教区会報告(追加)【出席議員(11月23日第1回点呼時点)】▽教役者議員1148人中40人▽信徒代議員1171人中69人(内女性議員23人・33%)▽番外議員115人【活動計画報告に当たった委員会等の名称】信仰と生活・正義と平和・財政・広報・聖職養成・礼拝音楽・財務サービシス・人権・小平墓地・教区資料保全・教区企画室・エルサレム教区協働・ハラメント防止の諸委員会および協議会【可決議案の名称】①日本聖公会東京教区会細則一部(第8条)改正の件②同細則一部(第7条・第9条)改正の件③教区費分担金制度検討特別委員会を設置する件④10年度教区収支予算案承認の件、以上計4

件【主教の開会演説】本号で別刷り付録

▽聖マーガレット教会クリスマスコンサート 演奏家4人による親しみやすい曲を中心にした演奏会。12月13日(日) 時開演。無料(会場献金)。会場 ㊦(33334) 2812。

▽東京聖三一教会チャリティー・クリスマスファミリースタート 13日(日) 14時、同教会で。横浜教区信徒や同教会聖歌隊を交えた演奏や歌。会場 献金は「山谷・まりや食堂」活動支援のために。照会 ㊦(3421) 3646。

▽聖アンデレ教会でクリスマス・チャリティーコンサート 日本キリスト教婦人矯風会ステツプハウス主催による(フルートと

ハープの調べ) 12月18日(金) 19時。チケット3千円(当日券3千5百円)。申込・照会 ㊦03(3364) 3133(同事務局)。

▽月島聖公会でクリスマスコンサート 小編成混声合唱団アンサンブル「カンタビール」によるチャリティー。19日(土) 17時。無料・会場献金。クリスマスソングを含めた3部構成コンサートで、収益は同教会建築のために。㊦03(3533) 6021。

▽立教女学院後援会主催ピアノコンサート 元院長・理事長故小川清生誕百年記念誌『恩寵と感謝』出版記念。12日(土) 12時半、同院聖マリア礼拝堂。演奏 ㊦宮崎朋菜。チケット112千円、こども・学生千円。㊦03(3247) 0903。

## 【クローズアップ】 33

### 教区会議案から1

#### 教区費分担金制度検討

##### 特別委員会設置案件

現在、各教会の教区費分担金は、普通献金と感謝献金によって分担金を按分している。しかしここ10年の統計を見る限り、教区全体としては献金額の減少、信徒数の減少は著しい。各教会に対して教区費分担金の負担を増加させることが難しい状況にあり、按分であるがゆえに、一部の教会では少しの献金額増加が分担金の極端な増加に繋がってしまっている。そこで教区は分担金額を増加させずに資金の取り崩しを行わざるを得ない状況が続いている。このままでは財政委員会の指摘を受けずとも資金が枯渇し、他の基金を取

り崩していかねばならない状況にある。

財政委員会では多くの時間をかけて頂き、協議し、現行方式の問題点を洗い出し新制度を提案した。普通献金と感謝献金だけでは各教会の財政力を的確に反映していかないという観点から、教会の総収入に対して按分する方法を取ろうというものであった。それに基づき先の各教会の財政委員担当者会議で説明がなされた。常置委員会としてはこの問題は単に制度を手直ししていくだけでは解決しないと考えた。教区の将来の財政に関しては、財政委員会がなされた努力には本当に感謝したいと思っ

ことを確認し、教区費分担金制度検討特別委員会の設置を教区会に提案した。

教区が一つになり、互いにその宣教の業に励みつつ邁進していくためには、各教会の委員だけでなく、信徒一人一人も交えて、じっくりと議論を重ねる必要がある。

そのためには教区全体の牧会体制、宣教体制の改革はぜひともなされなければならない。理解を深めていくために、公聴会や懇談会など行われなければならないだろう。今教区会ではこの特別委員会の設置が承認された。この委員会に託された課題は非常に困難なものであるかもしれない。今後のこの委員会の活動を祈りをもって支えていってほしい。

(常置委員長 司祭大畑喜道)